

「天使の分け前」「麦の穂をゆらす風」 ン・ローチ監督最新作

区ける伝説

"TESE FERGUS CLEGG, 1988 RAY BECKETT, 2004 KAHLEEN CRAWFORD, 2505 EIMER NÍ MHAOLDOMHNAIGH,











時代を超えてなお眩い輝 の私利なき高潔な 在 由 を揺さぶつてやまない。 0 人物ジミー する今を生 ふれ る 男 0 件きを放 生 精 0 きる 神 は 私

「手を見て下さい、爪には泥が。僕は学者ではないし 1932年、ジミーが緑生い茂る大地へと帰郷した。

悲劇的な内戦後のアイルランド。ジミー・グラルトンが、アメリカから10年ぶりに故郷の地を踏んだ。仲間 たちに歓待されたジミーは年老いた母親との平穏な生活を望んでいたが、村の若者たちから閉鎖された ≪ホール(集会所)≫の再開を訴えられる。かつてジミー自身が建設したそのホールは、人々が芸術や スポーツを学びながら人生を語らい、歌とダンスに熱中したかけがえのない場所だった。教会の監視が 厳しい中、行き場を失った若者の熱意に衝き動かされ、内にくすぶる情熱を再燃させたジミーはホールの 再生を決意する。しかし図らずもそれを快く思わない勢力との諍いを招いてしまい……。

歴史上に名も挙がらない、記録にさえ残らない ただ人々の胸に刻まれ、 やがて彼は伝説になった。

Jimmy's Hallとは、人々が集い、学び、踊る場所。しかし本作が最も語りたいことはホールの再建でも、 ダンスでもない。野を駆け、野に生きた労働者でありながら、抜群のリーダーシップで民衆に支持された "名もなき英雄"の物語だ。実在したジミーは、誰もが知る歴史上の偉人ではなく、むしろそのプロフィール の細かな部分はほとんど知られていない。活動家の傍ら、芸術や娯楽をこよなく愛したジミーの人間性に 加え、何よりもスクリーンに投影されているのは、ジミーの私利なき高潔な精神にほかならない。彼が説いた 言葉の数々は、未来への希望にみちたメッセージとして眩い輝きを放ち、混迷する今を生きる私たちに深く 刻まれ、すがすがしい感動を呼ぶことだろう。









前作『天使の分け前』が大ヒット! 英国の至宝ケン・ローチ監督が描く、

アイルランドで唯一、国外追放となった"名もなき英雄"の物語

『麦の穂をゆらす風』でカンヌ国際映画祭のパルムドールを獲得し、スコッチウイスキーに一発逆転を賭け た落ちこぼれたちのコメディ『天使の分け前』が日本で大ヒットしたケン・ローチ監督。この世界に誇る名匠 がアイルランドにおいて唯一、裁判も開かれずに国外追放となった人物の生き様に感銘を受け、至高の ヒューマンドラマを完成させた。カンヌ映画祭で上映された本作がローチ監督の"引退作品"という噂が 流れ、話題が話題を呼んだという。これまでも市井の人々を真摯な視点で捉え続けてきた監督の願いは、 ジミーの精神が後世へと受け継がれること。村の若者に未来を託す、このラストには監督自身の希望が 込められているに違いない。

2014年カンヌ国際映画

03 (6259) 8608 www.ttcg.jp

エ テアトルシネマク"ループ

特別鑑賞券1.500円(税込)発売中! <当日料金一般¥1.800の処/一部劇場を除く> 劇場窓口にてお買い求めの方にオリジナル・ポストカードを"もれなく"プレゼント!